

大阪産業大学 後援会 (保護者会) だより

2018年12月発行
(平成30年度第2号・通巻102号)

POSU

2018
Vol.102

OSAKA SANGYO
UNIVERSITY
大阪産業大学後援会 刊行物

Parents ↔ Osaka Sangyo University

誌上報告!!

「ソーラーカー・
EVプロジェクト」
「プロジェクト共育」

第53回
阪駒祭
レポート



ご報告

後援会活動報告(上期)、
地区教育懇談会、
ご存知ですか?こんな大産大!
大産大創立90周年
パーティー
…など

保護者の皆様へ

「大阪産業大学 100周年を見据えて」

後援会の皆様方におかれましては日頃より学園運営に多大なるご支援、ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

さて、本年11月1日、本学園は昭和3年大阪鉄道学校として発足して以来創立90周年を迎えることができました。90周年に際しましては、後援会より記念事業費として多額のご寄付を頂戴いたしました。頂きましたご高志は全額を学生諸君の就学環境の整備に活用させていただき所存であります。心より御礼を申し上げます。また、11月2日に挙行いたしました90周年の記念式典には川合会長、市原前会長はじめ後援会役員の方にもご多用の中ご参加いただき、とともども新たな門出を寿ぐことができました。重ねて御礼申し上げます。

この度の90周年の節目にあたって、私ども全職員は今一度初心に帰り、前途有為な青年を育成するという社会的使命を果たし、今後とも学生、保護者に選ばれる学園であり続けるための行動指針として、10年後の100周年を見据えた長期ビジョン「ビジョン100」を策定いたしました。現在このビジョンを実現するための具体的なアクションプランとして「中期事業計画」を策定中であります。「グローバルな視点を持ちつつ、生涯を通じて向上心を持ち続け、社会に貢献する信頼される社会人」の育成を目指してまいります。さらに今後10年間にわたる「キャンパス整備計画」及び来年4月オープン予定の「食堂のリニューアル計画」を併せて策定・実施し、学生の就学環境と福利厚生の一層の充実を図って参ります。

私は、建学の精神「偉大なる平凡人たれ」には二つの意味が込められていると自分流に解釈しております。一つは文字通り自分の職分・責任をしっかりと果す、信頼される、誠実な職業人たれ、という意味であります。もう一つは、「深い人生観と広い世界観を持った」心豊かな人間たれ、という意味であると考えております。このような若者の育成に今後とも職員一同力を尽くしてまいりますので、皆様方におかれましても引き続き一層のご支援、ご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。



学校法人大阪産業大学 理事長 吉岡 征四郎

P→OSU

POSU「Parents ↔ Osaka Sangyo University」

「後援会だより」は、保護者と大阪産業大学をつなぐコミュニティ誌です。

CONTENTS

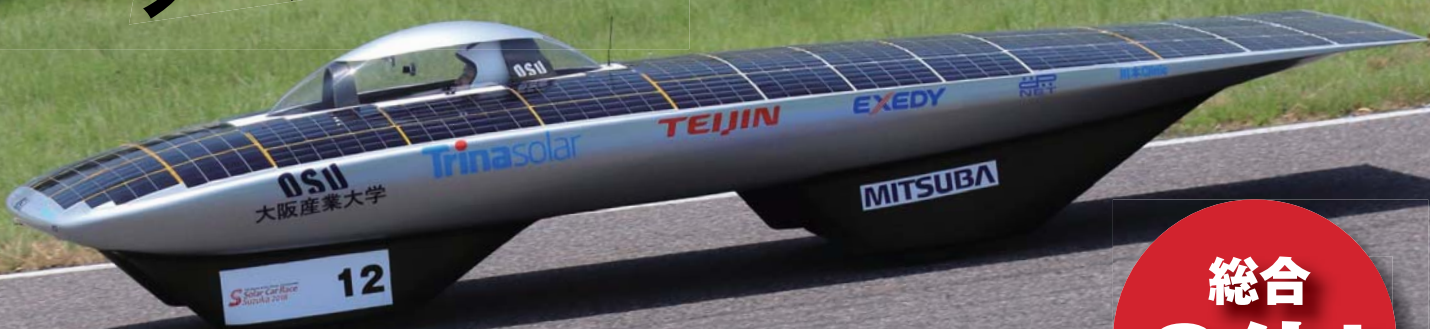
- | | | |
|----------------------|--|-----------------------|
| 01 「保護者の皆様へ」理事長ご挨拶 | 06 後援会支部だより | 13 在校生たちからメッセージが届きました |
| 02 ソーラーカー・EVプロジェクト報告 | 07 平成30年度 地区教育懇談会レポート | 14 学園創立90周年記念式典 |
| 04 プロジェクト共育 | 09 第53回 阪駒祭レポート | TOPICS / 編集後記 |
| 05 後援会活動報告 | 11 存知ですか?こんな大産大!
「資格講座」「保護者ポータルサイト」 | |

報告!!

ソーラーカープロジェクト



動画
配信中



総合
2位!

FIA Electric & New Energy Championship ソーラーカーレース鈴鹿 2018

クラス
優勝!

2018 Ene-1GP SUZUKA



新エネルギービークルプロジェクト



動画
配信中



このマークが付いている写真に
かざすだけで動画がご覧になれます!!

詳しくは裏表紙をご覧ください。

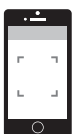
POSU にAR機能がつけました 下記の手順でぜひアプリをダウンロードしてください。



STEP1

ARアプリ「あるぞうくん」を
ダウンロードする

AppStoreまたはGooglePlayで
「あるぞうくん」を検索してください。



STEP2

専用QRを読み込む

「あるぞうくん」アプリを起動し、
右記専用QRをスマホ等で必ず読み取ってください。



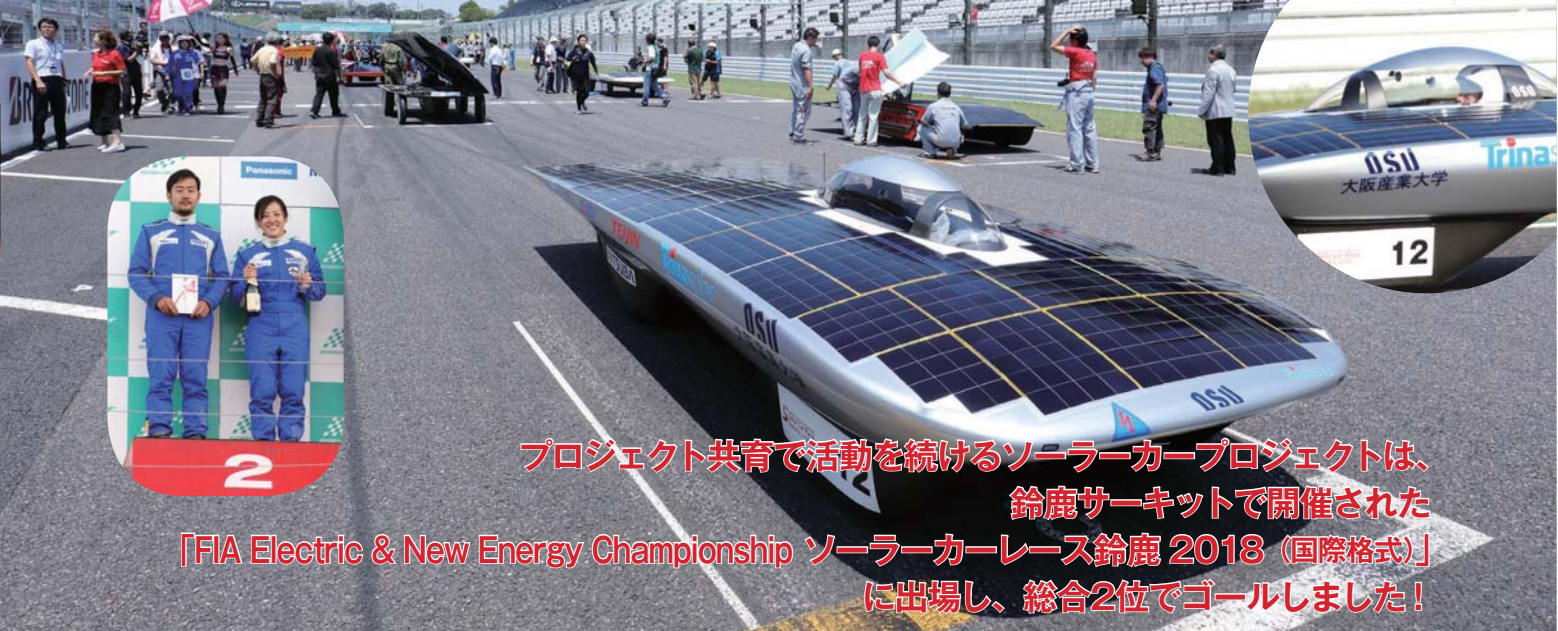
STEP3

ARコンテンツを見る

左のマークが付いている写真
全体にかざすとARコンテンツ
が楽しめます。

動画
配信中

※一部のスマートフォン・タブレットではご覧いただけない場合があります。※ARコンテンツの視聴期間は予告なく終了させて頂く場合がございます。予めご了承ください。



プロジェクト共育で活動続けるソーラカープロジェクトは、
鈴鹿サーキットで開催された
「FIA Electric & New Energy Championship ソーラカーレース鈴鹿2018 (国際格式)」
に出場し、総合2位でゴールしました!



8月4日(土)の決勝レースは、熱中症対策として連続走行時間を2時間までといった公式通知が出るほど、厳しい暑さの中でのレースとなりました。

第1ドライバーは本学OGの三浦愛さん(機械工学科2012年卒、現・株式会社セイ、F3ドライバー)、第2ドライバーは、兄の三浦純さんが務めました。本学チームはノートラブルで走行を続け、5時間耐久レースにおいて、総合2位でチエッカーを受けました。

今回のチーム代表を務めた村上雅亨さん(入試課兼プロジェクト共育支援担当)は、「今年もバッテリー搭載量の影響で、厳しいレース展開が続きましたが、OB・OG・協力企業・学生メンバーがチーム一丸となって、総合2位を獲得することができ、本当に嬉しく思います。応援してくださいました皆様により感謝の気持ちを伝えたいです」と語られました。

8月5日(日)に開催された「2018 Ene-1GP SUZUKA」には、
新エネルギービークルプロジェクトより3台の車が出場。
KV-2 クラス 優勝! KV-1 クラス 3位!



Ene-1GPは充電式乾電池(Lenovo)40本で鈴鹿サーキットのフルコースを3回走行。合計タイムで順位が決まります。

KV-2クラスに参加した車両は途中トラブルがあったものの、学生の頑張りで見事に克服し、大学・高専・専門学校部門で7回目となるクラス優勝! KV-1クラスでもクラス3位に入賞しました!

ソーラカーレースでピット責任者、Ene-1GPでドライバーを務めた交通機械工学科4回生の上松優輝さんは、「今年もチームメンバーの努力が実り、良い結果を残すことができて本当に嬉しかったです! Ene-1GPでは、昨年・一昨年と結果が振るわず、マシンの改良を続けて、ようやくクラス優勝ができたので大変嬉しく思います! 春には大学院に進学しますが、今後も表彰台に立ち続けることができよう頑張ります!」と意気込みを語ってくれました。

また、Ene-1GPでチーム代表を務めた須藤隆さん(全学教育機構)も、「今回の成果は、全て学生の頑張りによるものです! 彼らを本当に褒めてやりたいです! また頑張りますので、皆さまぜひ応援してください!」と笑顔で語られました。

学生力募集中!! OSUプロジェクト共育2018



動画
配信中



大阪産業大学では、2007年より「OSUプロジェクト共育」を全学的に導入しています。プロジェクト共育は、学生主体で取り組む様々なテーマに、自ら積極的に参加することで、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」といった、社会人基礎力を実際の経験を通して養える優れた教育プログラムです。全19テーマのプロジェクトが皆さんの参加を待っています。



1. ソーラーカー プロジェクト

太陽エネルギーを動力源とするソーラーカーの設計と開発を行い、自分たちで製作した車両の性能評価と環境啓発活動のため、国内外で開催されるレースやイベントに参加します。これらの活動を通じて学生自身のスキルアップとモチベーションを高め、社会的評価を得ることを目指します。



2. 旧車のレストアとイベント参加 プロジェクト

大学所有の1960年前後のクラウン、ダットサン、パブリカ等の旧車を譲り受け、一般道路を走らせようとするプロジェクトです。現在、1962年式のジャガーEタイプ・ロードスターと1961年式のダットサン311の修復作業を行っています。また、ナンバー取得したダットサンで各種イベントに参加してパレードランや展示車両の紹介をしながら、人間力のレベルアップも目指します。



3. 学生フォーミュラ プロジェクト

学生主体で、レーシングカーの設計・製作を行い「全日本学生フォーミュラ大会」(参加約80校)に参戦し、マシンの速さに加え、デザイン、安全性、チーム力を競います。このプロジェクトでは、レーシングカーを一から作ることで工学的基礎知識や創造に満ちた設計技術を学べます。この活動を通して、ものづくりの難しさ、面白さ、喜びを実感できます。



4. 鳥人間 プロジェクト

琵琶湖の空を飛びたいとの学生の篤い想いから、学生主体で読売テレビ主催の「鳥人間コンテスト大会」への出場を目的に活動しています。人力飛行機の設計・製作活動を通して、授業では学べない航空機に関する専門知識や滑空機製作のための加工技術を身につけ「自己学習力向上」を図っています。その成果として、鳥人間コンテスト大会の「プラットホームへ立つ」ことを目指しています。



5. ロボット プロジェクト

本プロジェクトには3つの部門があります。飛行ロボットはラジコン飛行機の設計製作を行い、学生飛行ロボットコンテストへ参加します。歩行ロボットは二足歩行ロボットの設計から製作までを行い、ロボット格闘技大会へ参加します。レスキューロボットは災害時の人命救助や災害調査の支援ロボットを開発します。



6. 3D CADで「ものづくり」プロジェクト

産業界で広く使われている3次元CADソフト「CATIA(キャティア)」の操作技術を習得し自由な発想で「ものづくり」をしませんか!
実社会で生きる技能・技術を後輩へ効果的に伝承することも目指します。



7. 森・川・田んぼ プロジェクト

地域生態系を考え、行動したい学生集まれ! 自然環境の保全と活動を通して、人と自然のつながりを考え、環境保全に向けて活動中。地域の方と交流しながら、環日香や龍間米・果樹・野菜作りを楽しみ、生駒山系の森林や河川調査を通して地域の自然を探索しています。自然の恵みを味わう楽しさも共有しましょう。



8. 世界的に著名なものづくりの人たちと勉強しよう プロジェクト

海外のトップクラスのものづくりの専門家を特別招聘教授として呼び、レクチャーやワークショップ、シンポジウムなどを開きます。また、意欲のある選抜された学生がコロンビア大学などの名門大学の教授陣と講演会などを通して、意見交換することでものづくりのデザインを勉強するプロジェクトです。



9. エコ推進 プロジェクト

緑あふれる美しいキャンパスづくりにあなたも挑戦しませんか? 緑化や清掃・美化活動を通じて、うるおいと活力あふれるキャンパスライフを実現しましょう! 学外のフィールドでも他大学や行政・企業との交流の輪が広がります。地域の子ども達への環境教育など、大学生だからこそできる社会貢献にも取り組んでいきましょう!



10. 新エネルギービークル プロジェクト

脱化石燃料・地球温暖化防止・新エネルギー利用など21世紀のモータリゼーション(車社会)の在り方を、社会に向けて発信します。乾電池で走行可能な新エネルギービークルなどを研究・開発して、環境問題に関する普及啓発活動を加速させましょう。



11. ドラゴンボート プロジェクト

ドラゴンボートは、漕ぎ手20名、舵取り1名、太鼓手1名、計22名がチームとなって、きめられた距離を早く漕ぎ抜き、そのタイムを競うスポーツです。7月に行われる日本国際ドラゴンボート選手権で優勝し、海外大会に日本代表としての出場を目指しています。誰でも手軽に楽しめます。一緒に世界を目指しましょう!!



12. 「歩く人。」on Campus プロジェクト

学生と地域の人と一緒に活動し、まちやキャンパスに「歩く人。」を増やします。具体的に「歩く人。」は次の通りです。①心疾患患者のスポーツコミュニティ「いきいきハートクラブ」運営、②「歩く人。」in the Park開催、③ストリートラグビー普及、④被災地復興まちづくり支援。



13. 地元のE(イ)もん・A(エイ)とごづくり プロジェクト

「自分の身近な環境=「地元」で活躍できる人材を育成する」ことを大目標として、デザインの手力から社会的問題を創造的に解決し、魅力的にしていこうプロジェクトです。今年も、毎年継続してきた深北緑地の野外映画祭や竹炭と納豆菌による水質浄化社会実験に加え、新規プロジェクトを通して地域の人々と協働し、企画力と実行力に磨きをかけます!



14. OSUエルダー プロジェクト

大学では様々な場面で、学生が力を発揮できるシーンがたくさんあります。自らが一歩を踏み出し、仲間との活動を通じて自身の可能性を高めていく。学生が学生を育てる活動。その中心となるのが「エルダー」です。自分達で企画するイベント開催や新入生サポートなどの活動を通して、自分達の大阪産業大学を創ろう。



15. 音楽プロデュース プロジェクト

音楽は好きですか? 音楽活動に必要な技術を学ぶことができます。大産大生の音楽活動の活性化と支援を目的に経済学部マルチメディアスタジオを利用し、学生自らが、レコーディングから盤面・ジャケット制作を行います。その他、音楽イベントを企画したり、プロモーション活動を行ったりすることで、音楽ビジネスに必要な知識とスキルを実践しながら学ぶことができます。



16. 市民・地域共同発電所 プロジェクト

脱炭素革命が世界潮流となり、グリーンテクノロジーが世界で生き残るため必須の状況の中、大学初の市民・地域共同発電所を学生中心となり、市民の方たちと協力して作るというプロジェクトをスタートしています。様々な気象・線量・地震計等のセンサーを生駒フィールドワークセンター含め多地点に設置し、得られたデータを地域防災拠点として発信し、減災の様々な取組を行うことも目標です。



17. 図書館クラブ プロジェクト

図書館業務に学生の視点から単発的に(現状では6月実施の「学生選書モニター」のみ)参加・協力するのはではなく、継続的・日常的かつ学生主体で図書館設備を利用し、参加者の「知の活性化」を図るものです。まずは「ピブリオ・バトル開催」、「フリー・ペーパー作成」などの活動を企画しています。



18. oasis@ OSU プロジェクト

oasis@ OSUは、大阪産業大学の国際交流グループです。「日本人と交流がしたい留学生」と、「外国人と交流がしたい日本人学生」がつながることのできる機会を提供することを目的としています。この国際交流グループを大阪産業大学のプロジェクト共育の一つとし、大阪産業大学での国際交流の場とします。皆さん、ご参加ください。



19. OSU舞龍団 プロジェクト

中華街ではおなじみの「舞龍」——テレビなどで一度は見たことがあるでしょう。しかし、毎年世界大会も開催されていることはご存知でしょうか。私たち舞龍団の目標は世界大会に出場すること。そのメンバーには中国人留学生に限らず、様々な国の留学生、そして日本人学生も含まれます。舞龍という一つの文化をグローバルなメンバーとともに体験してみませんか。

平成30年度後援会活動報告（上期）

後援会より ご報告

1. 学生の福利厚生に対する援助

(1) 学生主催行事

・行事名：新入生交流合宿

・開催日時：平成30年4月7日～4月8日

・実施場所：白浜荘（滋賀県高浜市）

・右記の件につきまして援助しました。

・大学祭に対して費用の援助を行いました。

(2) 課外活動

・クラブ・サークル等課外活動に対して及び

団体登録料

・右記の件につきまして45団体に援助しました。

(3) 奨学金

・本年度は11名に奨学金の貸与をしました。

(4) 寄贈・贈呈

・新入学生にトートバックを寄贈しました。

・卒業生に卒業記念アルバムを記念品として

贈呈しました。

2. 学生の就職活動に対する援助

・就職活動の充実を図るため、積極的に支援を行っております。

3. 支部活動の助成

・北陸、東海、滋賀、京都、三重、奈良、岡山、

西中国、四国の8地区に支部が結成されており、

地域で活動のために助成しました。

4. 海外留学・語学研修の援助

・4ヶ国、計50名に対して援助を行いました。

5. 100円朝食キャンペーンの実施

・前期は5月7日～5月18日、後期は9月25日～

10月5日に実施しました。

・前期は892名、後期は768名の学生に利用して

いただきました。

6. 学園創立90周年記念募金

・学生施設充実・教育設備充実の実現のため後援会より5千万円を寄付しました。

〔後援会常任委員・幹事〕

会長

川合 正哉（交通機械工学科）

副会長

永田 隆一（建築・環境デザイン学科）

宮脇 三徳（都市創造工学科）

河村 照美（国際経済学科）

会計監査

田首 麻美（建築・環境デザイン学科）

湊 利恵（経営学科）

会計監査

松田 浩子（電子情報通信工学科）

服部 香（スポーツ健康学科）

曾我 忍（文化コミュニケーション学科）

森田 孝司（経営学科）

大坪 みゆき（国際経済学科）

藤田 仁美（交通機械工学科）

塚田 賢代（国際学科）

有元 美彩（スポーツ健康学科）

明田 哲治（経営学科）

中原 拓也（経済学部）

中村 浩江（建築・環境デザイン学科）

井上 由佳（電子情報通信工学科）

小林 知子（国際学科）

小笠原 通晴（スポーツ健康学科）

西村 人美（商学科）

東博美（経営学部）

笹山 茂（経済学部）

笹川 正明（建築・環境デザイン学科）

川村 美保（交通機械工学科）

* 平成30年度 常任委員・幹事選出 *

北陸地区支部長

西田 法子（経営学科）

東海地区支部長

宇都 久幸（機械工学科）

滋賀地区支部長

今堀 直子（経営学科）

京都地区支部長

前野 智美（経済学科）

三重・奈良地区支部長

中野 訓子（スポーツ健康学科）

岡山地区支部長

森 美枝（スポーツ健康学科）

西中国地区支部長

田中 修司（情報システム学科）

四国地区支部長

泉 和成（国際経済学科）

幹事長

藤岡 克則

幹事

齋藤 雅子

学生部長／国際学部教授（国際学科）

教務部長／経営学部教授（経営学科）

リングホーフ・M

国際学部教授（国際学科）

三村 達也

入部 博章

酒井 博章

経営学部准教授（経営学科）

福森 徹

経営学部准教授（商学科）

齋藤 立滋

経済学部准教授（経済学科）

服部 純典

経済学部准教授（国際経済学科）

平松 綾子

デザイン工学部教授（情報システム学科）

並川 誠

デザイン工学部教授

（建築・環境デザイン学科）

前迫 ゆり

デザイン工学部教授（環境理工学科）

杉山 幸三

工学部講師（機械工学科）

大仲 英文

工学部講師（交通機械工学科）

佐野 郁雄

工学部准教授（都市創造工学科）

青木 孝憲

工学部講師（電子情報通信工学科）

宮崎 和美

全学教育機構准教授

小東 要一

事務部長

加門 和彦

キャリアセンター次長

吉井 義郎

学生部次長

小西 正彦

教務部次長

北村 友

事務部庶務課長

店家 潤治

事務部庶務課／後援会担当

支部だより

北陸地区

支部長の西田法子です。

北陸支部は、富山県、石川県、福井県の3県であり、常任委員会を行なう時は、中間の石川県で集まることが多くなります。

支部長の選出も3県を順番にしております。

支部活動もメインは、年に一度の地区教育懇談会での、お手伝いとなります。

来年の7月に向けて、先生方や、本部役員の方々と交流を大切にしていきたいと思えます。

前役員のご指導と、前活動をもとに、1年間ですが宜しくお願いします。

東海地区

支部長の宇都久幸です。

平成30年7月14日(土)、名古屋市の名鉄ニューグランドホテルにて第32回東海地区支部定期総会、就職・教育懇談会を実施いたしました。

まず保護者と教職員の方々と昼食交流会からスタート。大学の先生と接する機会が少なく緊張されている方もいらっしゃいましたが、役員の皆様の上手な雰囲気づくりと先生方の気さくなご対応もあって大変盛り上がり、満足して頂けたと思います。先生のご専門についての話を伺う機会などあまりありませんから、私も大変勉強になりました。

昼食の後は支部総会。会務・会計報告や役員選出といったやや硬い内容でしたが、皆様のご承認を頂かなければ会が成り立たしません。不慣れであまり上手な

報告ができない場面もありましたが無事承認して頂くことができほっとしています。

当日、最も印象的だったのが就職体験談です。キャリアセンターの方が学生さんにインタビューをするといった形式で体験談を披露。巧みな話術、絶妙な間合いで笑ったり、へえ〜と感心したりしながら聴き入っていました。昨年もそうでしたが、体験談を語ってくれた学生さんはとても聡明かつ堂々としていて素晴らしいですね。自分の子供だけでなく自分自身も見習いたいと思いました。

最後は先生・キャリアセンターの方との個人面談です。東海支部は参加者が少ないこともあってお話を伺う時間が充分にあり、様々なお話を聴くことができました。

支部役員の立場での会の進行に加えて保護者の立場での懇談等への参加は大変忙しかつたのですが、皆様の多大な協力のおかげで充実した一日となりました。

京都地区

支部長の前野智美です。

今年度の京都地区懇談会は7月の集中豪雨の影響で急遽中止となり、連絡が行き届かず当日お越しいただいた方々には御迷惑をおかけいたしました事をお詫びいたします。大学側の御尽力で10月に開催ができ、延期にもかかわらず多数の保護者の方の御参加をいただき感謝いたします。

後援会京都支部は年間約6回の常任委員会を行い、主に夏の地区懇談会と支部総会が円滑に開催出来るよう意見を出し

合っています。また支部長が出席した本常任委員会の報告や議案事項の検討も行なっています。

大学生にもなると、親が学校に行く機会にはほぼなく、子供達との会話も減る一方です。そこへいくと京都支部の役員会は1回生から4回生、各学年が揃っているの、子供達の学習面やインターンシップ、就職活動などの情報交換も活発で、自分が未知で不安に思っていることも先輩方から聞くことにより、子供との会話のきっかけとなりコミュニケーションが取りやすく、とてもありがたく感じています。

和気藹々な京都支部ですが、京都府の南北に長い土地柄、新規の支部役員さんをお願いするのは苦労しています。会員数は3番目に多いのですが、交通の便の加減でどうしても京都市近辺の方にお願いする形になっている現状です。地区懇談会ではちょっと必死な(笑)感じで新規役員さんを探しています。こんな私達にご興味のある方はぜひお声かけ下さいね！

西中国地区

支部長の田中修司です。

本年、7月の西日本豪雨災害において被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げます。また、各方面よりご支援や励ましのお言葉を頂き大変心強く感じました。

地区総会・教育懇談会の日程が変更になり、学校関係者の皆様にも並々ならぬ御尽力をいただき10月7日に無事開催出来ましたことに感謝申し上げます。

当支部では、役員を中心にご子息の学生生活でどんなことが問題なのか、どのように解決したらよいのかなど、総会参加していただいたご父母の方々と接的にコミュニケーションを図っていききたいと思っております。

遠方で一人暮らしをするご子息が、病気・ケガをしたら…医療費の補助は…？などの不安や疑問についても各学年の役員が知り得ている情報を元にお話しさせていただきます。

3年生からは就職活動の本番を迎える事もあり、個別懇談でキャリアセンターの就職状況や求人情報について詳しく聞くことが出来ます。これに加えて、父母相互に情報交換できる場となっております。変和やかで有意義な懇談会となっております。

支部エリア(広島・山口)から通う学生は、100名程度在学しております。支部の総会に参加していただき、意外とご近所に後援会仲間がいることに気が付いていただけたと思います。参加率の増加は何よりのテーマです。

学生生活の過ごし方から、就職活動の取り組み、卒業までの歩みについて支部後援会会員同士が和気あいあいと話が出来ようお手伝いさせていただきます。

後援会在籍が4年間と言う短い期間ではございますがあと残すところ1年となりました。残りの期間後援会活動のお手伝いが思い残すことなく達成できるように努力いたします。

平成30年度地区教育懇談会



動画
配信中

後援会より
ご報告

荒天で延期が相次ぐも 各地の会場で盛況に

全国各地で開催された「地区教育懇談会」についてご報告します。

後援会主催の事業の中でも最大の催しであり、保護者の皆さまから毎回たいへんご好評をいただいている「地区教育懇談会」を全国14会場で開催しました。今年は西日本豪雨や大型台風の影響により、当初7月に予定していた5会場（京都、奈良、岡山、福岡、広島）での開催をやむなく延期し、9月から10月にかけて、内容も一部縮小したかたちで開催。岡山地区においては、個別懇談の実施を見送り、支部総会のみで開催となりました。予定の変更が相次いだにもかかわらず、全国で計608名の保護者の方々にご参加いただき、学科の先生との個別懇談では、多くの親御さんがご子女の学生生活や成績について熱心に相談をされていました。



京都地区はじめ8会場では、地区教育懇談会に先立ち支部総会が同時に開催され、平成30年度の新役員の承認・紹介なども行われました

当日配布された懇談会資料。



参加者に 聞きました 〈大阪地区〉

「先生と直接お話しできてよかった」
懇談会終了後、参加された方々に感想をうかがいました。多くの皆さまから「来てよかった」というお声をいただきました。



経営学部 経営学科

加藤修さん・理英さん 潤也さん

会には毎年参加し学生さんの就活体験談に感心していましたが、今回は息子がスピーチすると聞きビックリ。心配でしたが、大勢の前で話す姿を見て成長したなあと感慨深く思いました。本人もいい経験になったと思います。



工学部 交通機械工学科

津田恭さん・恵理さん

成績表を見ても、いいのかわいのかかわらずにいましたが、個別懇談で履修票の見方を教わり、息子の現状、得意な点、弱いところを把握できました。今後どこに力を入れればいいのかも具体的に相談できてよかったです。



工学部 都市創造工学科

山口浩司さん・理恵子さん

この個別懇談会は子どもを日頃から指導して下さっている先生と直接お話しができる機会なので、毎回できる限り参加しています。子どもは進学希望ですが、親としては院卒後の将来も気になり相談。現状を理解できました。



スポーツ健康学部 スポーツ健康学科

河野剛士さん・美貴さん

本人からはあまり話が聞けないので、子どもの現在値をきちんと知り、最新の就職状況を確認しておくためにも、こういう機会はありません。配付の冊子にも知りました。情報が満載。帰ってじっくり読もうと思います。



10月14日
京都地区

荒天のために延期となっていた「京都地区教育懇談会」は、2カ月あまり遅れて10月14日（日）にメルパルク京都で開催され、会場には47名の保護者の方々が来場されました。支部総会についで本会に移り、川合後援会長、中村学長の挨拶のあと個別懇談会に。学部学科ごとの相談ブースとは別に設けられていた「就職活動」の相談コーナーに立ち寄りられる親御さんも多くみられ、就職への関心の高さが窺えました。

台風の影響で2カ月遅れの開催となった京都地区。就職コーナーにも多くの相談が寄せられました。



7月22日
大阪地区

大学の地元・大阪会場には多くの保護者の方が参加されました。学生による就職活動体験スピーチも好評でした。

大阪地区教育懇談会には、約225名の保護者が来場され、シエラトンホテル大阪の大会場がほぼ満席となる大盛況に。川合後援会長、中村学長の挨拶につづき、中山キャリアセンター長から最新の就職状況の説明があり「昨今の就活は、学生・大学・保護者がチームワークで戦う傾向に。親は過度に介入せず見守る姿勢で」と中山氏。大手企業に内定した学生2名による就活体験談も聞き応えがありました。



学科の担当の先生と保護者がマンツーマンで話せる個別懇談会。履歴票や出席簿などと照らし合わせながら最長20分、じっくりと子どもの学生生活について聞くことができます。皆さん真剣な面持ちで相談されていました。



就職体験スピーチ。「就活を通して他大学や企業に知人ができて楽しかった」と住宅メーカーに内定した男子学生（右）。「親は子どもが何を目標しているかを知り、背中を押し続けてあげて」と自動車メーカーに技術者として内定した女子学生（左）。

参加者に
聞きました
〈京都地区〉

「子どもの現状がわかり安心しました」
京都会場でも懇談会終了後、保護者の方々に突撃インタビューし、感想をうかがいました。ご協力ありがとうございました！



坂元富美子さん
デザイン工学部 情報システム学科
仕事が忙しく、これまで後援会の催しに参加できずにいたのですが、子どもが3年生になり今回初めて参加。気になっていた就職についてもいろいろお話が聞けてよかったです。先生方の丁寧な対応に本当に感謝しています。



植田有紀子さん
スポーツ健康学部 スポーツ健康学科
成績について本人に聞くと「たぶん大丈夫」と心許ない返事。今日は先生とお話し、「このままいけば卒業は問題ない」と言っていただけホッとしました。来年は3年生。就職のことも考えるようそれとなく伝えたいと思います。



富田千佐代さん
工学部 電子情報通信工学科
一人暮らしを始めた息子がちゃんとやっているか心配でしたが、先生から出席も成績も良好と伺い安心しました。親元にいる頃は頼りなかつた息子の成長を感じ、嬉しい気持ちに。今日は遠くから来た甲斐がありました。



草場正美さん・京子さん
経営学部 経営学科
成績表を前に担当の先生とお話でき、得意なところ、いいところもいろいろあるとわかりました。親としての心配から、日頃はいいダメな点ばかり指摘していたなと反省。いいところを褒める大切さに気づかされました。

第53回阪駒祭

動画
配信中



〈テーマ〉

笑音to愛くわをんぐで終わりぐあいぐから始まるく

今年は11/3(土)〜4(日)に
阪駒祭が開催されました！

第53回阪駒祭では音楽ライブとお笑いライブ
に力を入れ、学生たちが一生懸命行う模擬店や
展示で、学生だけでなく地域の人々や子供たち
など多くの来場者の笑顔が印象的でした。

今回のテーマ「笑音to愛」とは、ひらがなで
は「わをん」は最後ですが、「あい」は最初の文
字ということで、今までとは違い、新しく進化
した学祭をつくりたいという気持ちが込められ
たそうです。

10時の開会式前から大勢の来場者があり、大
学内はすでに熱気に包まれていました。

吉本お笑いライブや見放題、イルミネーショ
ンの点灯式や大学創立90周年を記念して有料
ライブを行い、阪駒祭はとも盛り上がりがあ
りました。

大阪桐蔭中高の学園祭とも重なって、掛け持ち
で見学された方もたくさんいらっしゃいました。
学生や卒業生・保護者の方ももちろん、ご近
所の方やびび子も模擬店やスタンブラー・ス
テージイベントなど大変盛り上がりがありました。

結果、今年も配布用のパンフレットが無くな
るほど、多くの人にご来場していただいたとい
う事でした。AR動画で、ぜひ盛り上がりをご
覧になってください。



阪駒祭パンフレット



* 大学祭実行委員会 *



大阪産業大学大学祭実行委員会
第53代 委員長
吉留 章平さん
工学部機械工学科3年生

今年度の第53回阪駒祭を開催できましたこと、我々一同心より御礼申し上げます。本年度も大成功で終わり、本当に安心しております。来年度の第54回阪駒祭もよろしくお願ひ申し上げます。



副委員長
笠松 裕斗さん
経営学部商学科3年生

今年度も阪駒祭を開催できたことは、皆様のご支援があったからと思います。ありがとうございました。去年度に比べ、来場者数も増え成功で終わりました。第54回阪駒祭もご支援・ご協力のほど、よろしくお願ひします。



会計
平塚 大輝さん
経営学部経営学科3年生

第53回阪駒祭が開催できたのは、皆様方のご協力・ご支援があったからこそだと思います。誠にありがとうございました。次の、第54回阪駒祭もご協力の方よろしくお願ひします。



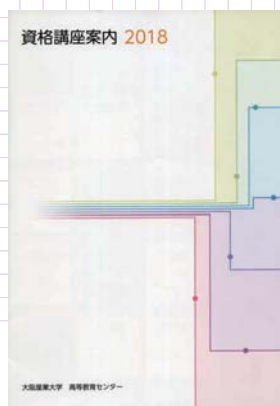
幹事長
安福 潤さん
経済学部国際経済学科3年生

今年度も阪駒祭を開催することができ、たくさんの達成感や成し得なかった事への後悔の気持ちでいっぱいです。第53代の阪駒祭は終わってしまいましたが、その後の第54代や、その先の代まで、さらにより良い阪駒祭を作ってほしいと思っています。



高等教育センター「資格講座」のご案内

資格を持っていることは、これからの人生で力強いアピールポイントになります。大学生のთვისは就職活動においても有利になります。高等教育センターでは、在学生対象はもちろん、一般の方も受講ができる様々な講座を用意しています。



講座名	
公務員系	公務員試験基礎対策講座
	公務員試験対策講座
	公務員試験対策速習講座
	教員採用試験対策講座
実務系	宅地建物取引士資格取得講座 (国家資格)
	F P 技能士 2 級対策講座 (国家資格)
	F P 技能士 3 級対策講座 (国家資格)
	日本商工会議所簿記検定試験対策講座 2 級
	日本商工会議所簿記検定試験対策講座 3 級
	ビジネス実務法務検定 3 級対策講座 ※ 1
	秘書技能検定 準 1 級 ※ 1
	秘書技能検定 2・3 級
国内旅行業務取扱管理者資格 (国家資格)	
語学系	TOEIC 対策講座
	TOEIC・IP (試験)
環境系	環境管理士 2 級
	公害防止管理者 (水質関係第一種) (国家資格)

講座名	
技術系	2 級建築士受験対策講座 (国家資格)
	ガス溶接技能講習 (国家資格)
	中古自動車査定士技能検定試験対策講座
	フォークリフト運転技能講習 (国家資格) ※ 1
	小型車両系建設機械特別教育 ※ 1
	低圧電気取扱特別教育 ※ 1
	危険物取扱主任者乙種第 4 類 (国家資格)
IT系	IT パスポート (国家資格)
	MOS 2010 (Word.) (国家資格) ※ 2
	MOS 2010 (Excel) (国家資格) ※ 2
	MOS 2010 (Power Point) (国家資格) ※ 2

●赤文字は、一般受講可能

※ 1… 2019 年度は開講の予定は御座いません。

※ 2… 2019 年度からは「MOS 2016」に変更予定です。



一般の方への紹介は、主に大東市報と一緒に配布される大東市立生涯学習センターアクロス発行【あそび探検まなび体験】という冊子(年 2 回発行)に一般の方でも受講できる講座内容を記載させていただいています。

今年度の宅建講座では、80 歳の女性の方の申込があり授業もほぼ休まず孫より若い世代の学生と仲良く受講されていました。簿記と宅建は一般・学生ともに人気講座です。

ご興味のある方は、高等教育センターまでお問い合わせください。ご子女と一緒に受講もいかがですか。

「資格講座」お問い合わせ先

大阪産業大学 高等教育センター

ホームページ : <http://www.osaka-sandai.ac.jp/sis/esc/index.html>

〒574-8530 大東市中垣内3-1-1

TEL : 072-875-3001 (代表)

FAX : 072-871-1214

使っていますか？「保護者ポータルサイト」！

大阪産業大学では、保護者と学生(ご子女)と大学を繋ぐツールとして、「保護者ポータルサイト」を発信しています。インターネットを通じ、「お知らせ」や「イベント案内」などの最新情報やご子女の時間割や成績表も確認できる独自のWebシステムです。ぜひ、ご利用いただきますようご案内いたします。

■ 主な機能 ■

1. お知らせ、個人伝言

大阪産業大学及び後援会から最新の話題や情報等を提供する掲示板です。

2. 時間割

ご子女が履修している時間割を閲覧することができます。

3. イベント一覧

後援会が実施する地区教育懇談会、定期総会などの参加の申込みをすることができます。

4. 成績表ダウンロード

ご子女の成績表をダウンロードすることができます。

5. メール通知設定

大阪産業大学及び後援会からのお知らせやイベントの開催案内などをメールでも通知します。



「お知らせ」でインフルエンザ予防接種の割引があると知って、すぐに受けさせました。

「成績表ダウンロード」から子供の成績チェックができるので、いろいろ話ことができました。

奨学金申請の締切日が「お知らせ」に載っていて助かりました。

「ご利用の保護者の方々から、こんなメッセージをいただきました」

「時間割」をチェックして今、授業中かが分かるので連絡しやすくなりました。

「イベント一覧」から地区教育懇談会の参加申し込みが簡単にできて便利でした。



「時間割」で、今日何時に帰ってくるのか分かるようになった。

「時間割」チェックで注意したら、サボることが無くなったかな(笑)。

「保護者ポータルサイト」へのアクセス

大阪産業大学 保護者ポータルサイト



AR画面下の
[保護者ポータル
サイト]からも
アクセスできます

ご質問・ご相談の お問い合わせ先のご案内

本学では電話交換手が電話を受けます。その後、担当部署へ電話をつなぎます。そのため、〇〇課へ、もしくは〇〇のことで質問があります等、端的に伝えていただくとスムーズに担当部署へ電話を繋ぐことができます。お手数ですがご協力をお願いいたします。

大阪産業大学公式サイト
<http://www.osaka-sandai.ac.jp>

電話でのお問い合わせ／TEL.072-875-3001(代)

【窓口時間】

月曜日～金曜日／9:00～17:00、土曜日／9:00～12:30

ご協力をお願いします

【部署と主な業務】

- 教務課(大学院・大学)／履修指導、学籍・成績管理、証明書交付など
- 学生生活課／学生生活全般、各種奨学金、遺失物・捨得物、課外活動など
- キャリアセンター／就職相談、就職指導、推薦状発行、就職活動証明書発行など
- 国際交流課／海外研修・語学研修、海外留学など
- 高等教育センター／各種講座の企画運営、資格取得・プロジェクト共有のサポートなど
- 各学部事務室／学部関連業務全般
- 教職教育センター／教員免許など
- 後援会事務室／後援会業務全般



文化会 美術部

美術部は現在10名で活動しています。私たちは自分の好きな時間に部室に集まり作りたいものを作って活動しています。秋の学祭に展示する作品を作ることが主な活動内容です。部員一人一人が学祭に向けて日々作品作りに励んでいます。

部の雰囲気は学年に関係なくみんながやさしく仲良く、作品作りの時以外でも賑やかで楽しく活動しています。



文化会 茶華道部

茶華道部は現在、男性8名、女性5名の計13名で活動しています。茶華道を通じて、日本文化を学び、自己修練に励むと同時に「おもてなし」の心を学ぶことを目的としています。稽古日は毎週月、水、土の15時から本館の9階職員研修室(茶室)で行っております。流派は、茶道は裏千家(うらせんけ)、華道は嵯峨御流(さがごりゅう)です。毎年、大学外では野崎観音での奉仕茶会、子どもを対象にした茶道体験などボランティア活動も行っています。大学内では、学園祭やオープンキャンパスなどの茶会も行なっています。ほとんどのメンバーは、大学から茶道を初めた人ばかりです。茶華道部に入部すると、楽しみながら「人を思いやる気持ち」や「社会人としての知識」を身につけることももちろん、「資格」も取得できます。初心者の方、ご興味のある方、大歓迎ですので、一度見学に来てください。

これからも感謝の気持ちを忘れないで、部員一同、精進してまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



体育会 日本拳法部

体育会日本拳法部は現在、選手6名・マネージャー2名の計8名で活動しています。西日本2部リーグに所属し、1部昇格を目指して日々の練習に取り組んでいます。昨年より、指導者と学生で対話する時間を増やし、練習改革・意識改革を進めています。まずは部員の意志を尊重し、考えて行動する・実行する。という力を徐々に身に付けてきました。戦績は昨年、個人戦(三段以上の部)で西日本3位という好成績を収めた部員もいます。創部50周年を迎え一層、指導者・部員が丸となり結果を求めて練習に励みます。これからも大学関係者および卒業生の先輩方、保護者の皆様のご期待に添えられるように励んでいきますので、ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



体育会 ソフトボール部

ソフトボール部は現在15名で活動を行っています。毎年春と秋に大会があります。春の大会では、あと一勝すればブロック代表になれるところまで行きました。現在は3部ですが部員全員で切磋琢磨し、「2部昇格」を目指して日々精進しています。

大学の関係者の方々、OB・OGの先輩の方々、保護者の皆様の期待に添えるように励んでいきますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



体育会 男子硬式庭球部

体育会男子硬式庭球部です。現在部員は三回生6名、二回生4名、一回生6名、計16名で活動しています。部員一人一人がやる気に満ち溢れており、意識を高く持ち練習に励んでいます。活動目的は、協調性や人間性などを養い社会人として必要なものを身につけることや、リーグ団体戦での二部昇格、個人戦での本戦出場です。今年のリーグ戦では三部残留と悲しい結果になったので、その悔しさを忘れずに部員同士が切磋琢磨をして日々精進しています。最後に、顧問の佐藤先生、安部監督ならびに大学の関係者の方々、OBの先輩の方々、保護者の皆様への感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張っていきます。ご支援のほどよろしくお願いいたします。



在 学 生 達 から 後 援 会 へ
メ ッ セ ー ジ が 届 き ま し た !



学校法人大阪産業大学 学園創立 90 周年記念式典・祝賀会



平成 30 年 11 月 2 日（金）、大東市立市民会館キラリエホールにて、学園創立 90 周年記念式典および祝賀会が挙行政され、大東市市長、東大阪市市長をはじめとする地域・地元の皆様、同窓会、保護者、学生生徒などの学園関係者をお招きし、記念すべき嘉節を祝いました。

式典では、冒頭、学園創立 90 周年記念動画が放映され、続いて吉岡理事長から式辞が述べられました。

その後、来賓紹介、来賓祝辞が行われ、東坂大東市長からは、「大阪産業大学の学生の皆様が勉学とスポーツの分野において数多くの成果を積み重ねていくご様子は大東市にとって大変喜ばしく思っております。」との言葉を頂きました。

野田東大阪市市長からは、「建学の精神、“偉大なる平凡人たれ”こそが地域社会から求められており、今後も社会に対して大きな貢献を成す事をお祈り申し上げます」との言葉を頂きました。引き続き、祝電披露、峠常務理事による記念事業概要報告が行われました。



また、学園創立 90 周年企画として、学園を構成する学生、生徒のみならず、卒業生そして職員の方々を対象に、建学の精神「偉大なる平凡人たれ」に因んだ、「私の偉大なる平凡人像」を募集し、466 通の応募の中から、受賞された方々の発表が行われました。

式典終了後は会場を移し、祝賀会が開催されました。中村学長の開会挨拶、平岡校長（大阪産業大附属高校）の乾杯の後、学園の沿革紹介として当時の写真等がスクリーンに映し出され、会場は和やかな雰囲気になりました。

祝賀会では、大阪産業大学吹奏楽部の演奏が華を添えるとともに歌や振付も披露され、自然と手拍子が起こりました。大阪産業大学校歌、大阪産業大学附属高校校歌、大阪桐蔭高校校歌メドレーも演奏され、会場は大いに盛り上がりましました。



東大阪市市長



大東市市長



編集後記

「後援会だより」最新号をお届けいたします。「後援会だより」は、保護者の皆さまと大阪産業大学を繋ぐ「コミュニティ誌」です。

今年も、本学園創立 90 周年という記念すべき節目の年でございます。11 月 2 日には学園創立 90 周年記念式典・祝賀会を挙行政いたしました。川合会長、市原前会長はじめ、後援会役員の方々とともに新たな門出を寿ぐことができましたことをご報告いたします。

さて、今回お届けする 102 号では、平成 30 年度地区懇談会をはじめ、各支部の紹介を中心に、上期の後援会の活動を報告しております。また、11 月 3 日から 4 日の 2 日間にわたり開催されました第 53 回阪駒祭や、ソーラーカープロジェクトに代表される OSU プロジェクト共育といった学生主体の活動も紹介しております。加えて、在校生から後援会へのメッセージも掲載しておりますので、併せてご覧いただければ幸いです。

本学では、保護者の皆さまと学生（ご子女）と大学を繋ぐツールとして、「保護者ポータルサイト」を発信しております。ぜひ、ご活用いただけますようお願いいたします。「保護者ポータルサイト」へのアクセス方法と提供している情報の内容につきましては、本誌 12 ページをご覧ください。

今後とも、後援会活動を通し、本学がさらなる発展を期するよう、ご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

後援会幹事長 学生部長 藤岡 克則

POSUにAR機能がつけました

後援会の活動や大学のイベント・トピックスを「ムービーニュース」として、お手持ちのスマートフォンやタブレットPCで動画が見られます。また、最新情報や動画の更新なども「お知らせ機能」でお届けします。ぜひ『POSU』を愛蔵版としてお楽しみください。

ARコンテンツを見るための準備

STEP1 ≫ アプリのダウンロード

スマートフォン無料アプリ「あるぞうくん」を右記QRを読み込みダウンロードしてください。

※QRコードはApp Store、Google Play共通です。



アイフォンの方
Download on the
App Store
アンドロイドの方
ANDROID APP ON
Google play



QRコードリーダーで読み込んでください

ARの使い方 (2回目以降はSTEP1は必要ありません。STEP2よりお進みください)

STEP2 ≫ アプリを起動する

「あるぞうくん」アプリを起動してください。

※アプリを立ち上げると右のような画面になります。



あるぞうくん用のQRコードを読み取ってください

STEP3 ≫ 専用QRを読み込む

STEP2の画面になりましたら右記専用QRをスマホ等で必ず読み取ってください。画面右上に「大阪産業大学」の文字が表示されれば準備完了です。



専用QR



STEP4 ≫ ARをご覧ください

右ページの指定された写真にスマホをかざすとポップアップ画像が表示されイベントの最新情報やイベント後の様子が動画などでご覧になれます。

※ARコンテンツは動画だけではなくさまざまなコンテンツがご覧になれます。

この写真にスマホをかざすとポップアップ画像が表示されます。



このマークのあるページの写真にスマホをかざしてください



動画配信中

履歴機能の使い方

専用QRは1度の読み込みでOK!!

初めに専用QRを読み込んでいただくと、次回からはアプリを起動後、右記の赤枠内の履歴をタップし、表示される「POSU 後援会だより」をタップすることで都度、専用QRを読み込む必要がなくなります。



画面に「POSU 後援会だより」と表示されたらタップしてね!!

- 一部のスマートフォン・タブレットのOSのバージョンによってはご覧いただけない場合があります。
- ARコンテンツの視聴期間は予告なく終了させていただく場合があります。予めご了承ください。



「あるぞうくん」の使い方はこちらでもご確認いただけます。「AR蔵 YouTube」▶▶▶